

淀川清掃活動と淀川左岸線（2期）工事現場見学

日時：2022年12月9日 10:00～14:00

集合：JR神戸線 塚本駅 10:00

行先：淀川右岸河川敷 JR神戸線、阪神高速神戸線から下流へ500mの清掃
阪神本線 姫島駅～淀川駅 淀川左岸線工事見学

参加者：10名（OB村瀬さん(指導者)含む）

天候：快晴

活動時間割り

- 10:00～10:30 JR塚本駅から淀川右岸に移動 清掃の説明
- 10:30～11:20 川岸を中心に清掃活動 回収ごみにエフ添付 集合写真
- 11:20～12:10 淀川左岸線工事内容、工事に伴う一般住民に影響説明、
- 12:10～12:30 昼食
- 12:30～13:00 阪神本線姫島駅へ移動
- 13:00～14:00 淀川駅に移動 淀川左岸線（2期）の工事現場見学
- 14:00 阪神本線淀川駅で解散

活動内容

1. 淀川河川敷清掃

野鳥は村瀬さんの話しでは少なく、イソシギやオオバンなど水鳥20羽などが見られました。

河川敷の広場の所にはごみは落ちてなく、



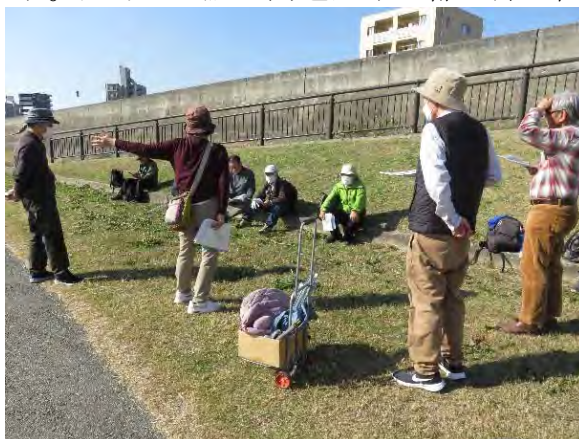
きれいな状態です。しかし、川岸、草むらの所は多くのプラごみが放置されていました。分からない所に集中的に廃棄されている状況です。また分からない所に廃タイヤ、何かきな臭いポストンバック等も廃棄されていました。各人1枚の

回収袋で回収し、10袋が一杯になって収集を終わりました。ペットボトルに液体が残った状態で放置されています。せめて中身空にして欲しいですね。



2、淀川左岸線（2期）工事 ～未来をつなぐ関西の環～

現在淀川左岸線（2期）工事が進んでいます。目的は大阪の高速道路は都心部に位置する阪神高速道路の環状線から、放射状に延びるネットワークが形成されています。そのため、周辺地域から他の地域に移動するだけの通過交通も都心部に集中し、環状線などで慢性的な交通混雑を引き起こすため、周辺環境の悪化や、社会経済活動への影響が問題となっています。こうした問題を抜本的に改善するために計画されたのが「大阪都市再生環状道路」であり、大阪市中心部の外側を取り巻く、延長 60Km の自動車専用道路です。



工事内容を説明する村瀬さん

その工事の初期に砂杭工事で近隣の住宅から花壇の壁がズレたり、側溝の目地にひび割れが生じたりする変状が現れた。砂杭から近隣住宅までの距離は十数メートル。両者の間に打設してあった長さ13mの土留めの鋼矢板にも変位が生じていた。砂杭によって、周辺の地盤の押し出された影響とみられる。

淀川左岸線は海老江ジャンクションと豊崎インターチェンジを結ぶ延長約4.4kmの自動車専用道路です。その大部分は淀川左岸の堤防内にボックスカルバート構造のトンネルで建設しています。

淀川駅に移動し工事現場を観察する。



地盤改良工事のための地上鋼材建造物



地盤改良工事の現在の土壌の撤去作業



大規模な土壌改良などが進む工事現場を外から観察しました。大阪市の中心部で工事が進んでいますが、大阪最大の淀川の堤防上の工事です。事故や構造的に災害が起こらないように工事が進むことを祈りながら工事現場を後にし、帰路につきました。

見学予定の大阪市下水道科学館は次の機会に延期することにしました。

文・写真 小林 薫